

○ 本校の概要

本校は今年度、開校68年を迎える。児童数は559名、学級数19学級、特別支援教室の拠点校となっている。正規教職員は36名、講師・補助員等を入ると総勢54名の教職員が「チーム多摩川」として児童を指導・支援している(令和5年4月1日現在)。今年度は令和元年に5年計画で策定した「おおた教育ビジョン」＝「豊かな人間性をはぐくみ、未来を創る力を育てる」の最終年度、仕上げの年である。それを受け、本校では、現校長が着任してからの3年間、「力のある学校」を目指してきた。「知徳体(学びの力・心の力・体の力)」を三位一体で向上させ、そこに「保護者・地域の力」もお借りして大きく増幅、その力を結集させて将来にも通じる「未来を創る力」を育成する学校を目指した。その実現のために、ここ3年間コロナ禍でやや停滞していた「保護者・地域の皆様への公開」を更に拡充する。学校の主役は子ども。一人一人に寄り添い、子どもの溢れる可能性や豊かな感性を大事にする。そして良好な人間関係(高め合う集団)づくりをする中で、すべての人が「笑顔で光り輝く学校」を目指す。さらに、1年後に「地域運営学校」への移行、2年後の「開校70周年」、「おおた未来づくり科の新設」を視野に、すべてを運動させて捉え、本校の全児童を学校・保護者・地域で育成することを前面に掲げ、郷土(矢口地域)を愛し、将来的に地元に戻ってくるような子どもたちを育成する。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 7 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, 学校関係者記入欄. Rows include categories like '未来社会を創造的に生きる子供の育成', '児童・生徒一人ひとりの学び意欲を高め、確かな学力を定着させます', '子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への希望に満ちた豊かな心をはぐくみます', 'スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯健康を促す意識の向上をめざします', '児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境づくり', '学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に関わった教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。'

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。
○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。